

平成 24 年度第 2 回 (第 39 回)

気象予報士試験
実技試験解答例

平成 25 年 2 月

この解答例の全部又は一部を無断で複製・転写することはできません。

一般財団法人 気象業務支援センター

実技 1

問 1

(1) [9点]

- ① 25 ② 1004 ③ 東海道沖 ④ 海上暴風
⑤ 南東 ⑥ 24 ⑦ 12 ⑧ 暖気 ⑨ リッジ

(2) [10点]

① パターン名：バルジ

高度場の特徴と低気圧の変化：

西側にトラフがあり、低気圧が発達すると予想される。(25字)

② 雲の種類：積雲，層積雲(順不同)

成因：低気圧後面の寒気移流

問 2

(1) [12点]

① 通過した時間帯：3日 6時～3日 7時

根拠：風向が東から南西に変化し、前後の時間に比べて気温の上昇量が大きい。
(33字)

② 南側の方が気圧の傾きが小さいため、前線通過後に風が弱まった。(30字)

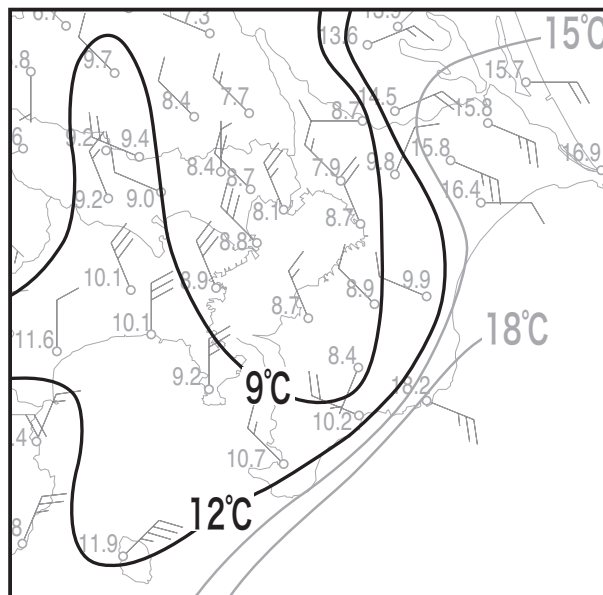
(2) [2点]

3日 11時頃

問 3

(1) [11点]

①



② 鴨川と勝浦間：4.0 °C / 10km 勝浦と八丈島間：0.2 °C / 10km
温度勾配の倍率：20 倍

(2) [16点]

① (次ページに示す)

② 関東地方の内陸部にメソ高気圧が形成されているため。(25字)

③ 暖かい東よりの風と冷たい北よりの風が収束したため。(25字)

実技 2

問 1

(1) [10 点]

- ① 強さ：ア 大きさ：ウ ② 60 m/s
③ 台風は暖気核，トラフは寒気を伴っている。(20 字)

(2) [2 点]

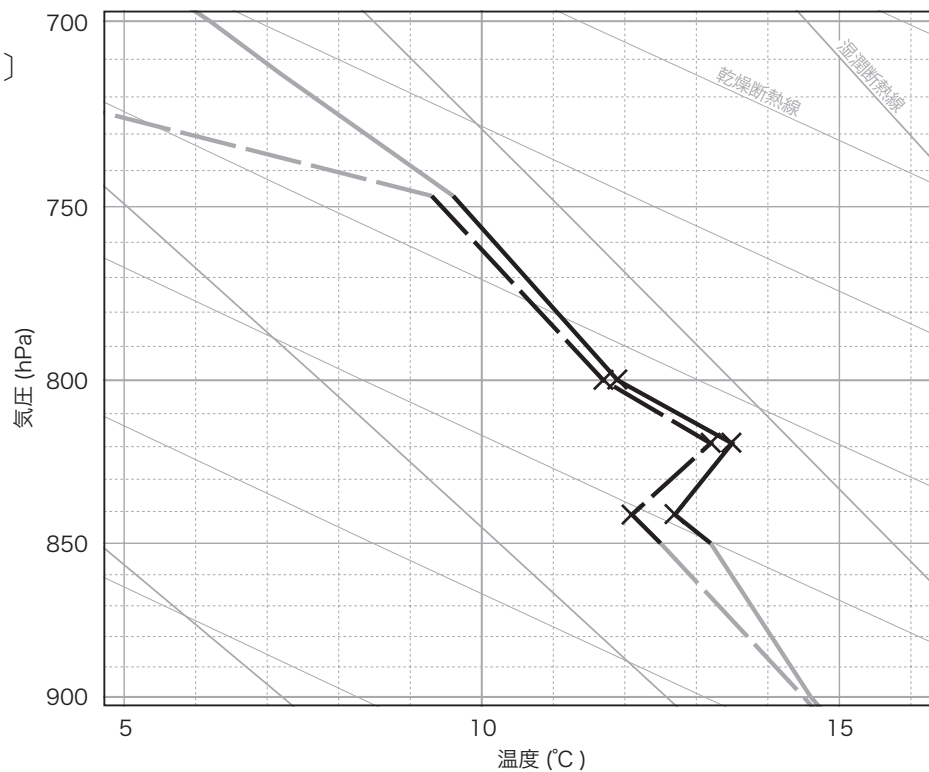
5820 m

(3) [8 点]

A：積乱雲 **B**：巻雲 **C**：巻雲 **D**：層雲

問 2

(1) [6 点]



(2) [2 点]

上端：820 hPa 下端：840 hPa

(3) [6 点]

- ① 上昇流の強い領域
② 日本海北部のトラフ前面の上昇流 (15 字)

問 3

(1) [10 点]

気圧：通過前の気圧下降よりも通過後の気圧上昇の方が急激である。(28 字)
風速：極大値は通過後の方が大きい，20m/s 以上の継続時間は通過前の方が長い。(37 字)

(2) [8 点]

前面 1000hPa 半径：150 海里 980hPa 半径：40 海里
後面 1000hPa 半径：60 海里 980hPa 半径：20 海里

問 4

(1) [4点]

① 図 9(下) : 988 hPa 図 13 : 975 hPa ② +25 hPa

(2) [2点]

狭くなる

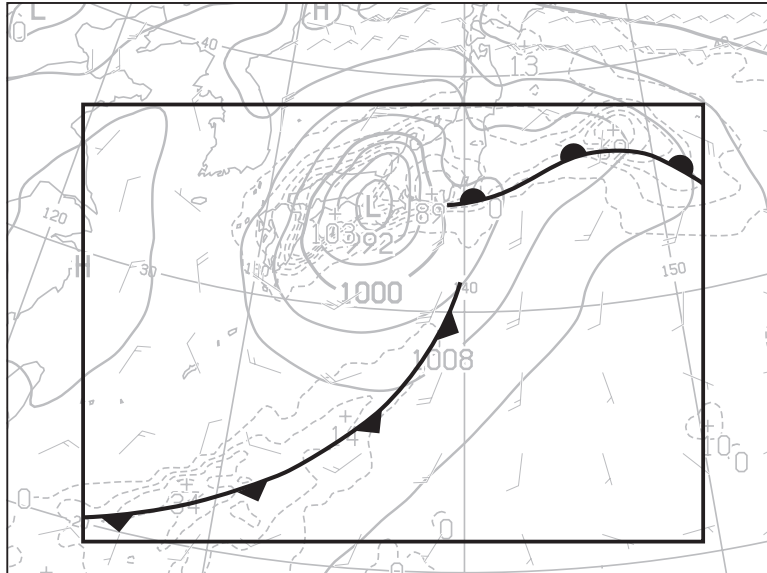
(3) [5点]

① 円 ② 増大 ③ 寒気移流 ④ 正渦度 ⑤ 暖気核

(4) [7点]

気圧の傾きの最も大きい領域が 12 時間後には台風中心付近にあるが、24 時間後には中心から離れた領域に移っている。(55 字)

(5) [6点]



(6) [5点]

① 5 ノット ② 強風や大雨が長時間持続する。(14 字)

(7) [8点]

① オホーツク海の高気圧がブロッキング高気圧であるため。(26 字)
② 12°C以下の寒気場 ③ **ア** : 強風 **イ** : 切離

問 5

(1) [5点]

中心から離れた所に中心付近よりも気圧の傾きが大きい所がある。(30 字)

(2) [6点]

上空の約 50 ノットの強風が、地形の影響で山の風下側に吹き下ろしたため。(35 字)

平成 24 年度第 2 回 (第 39 回)

気象予報士試験
学科試験解答

予報業務に関する一般知識

- 問 1 ④
- 問 2 ②
- 問 3 ②
- 問 4 ③
- 問 5 ②
- 問 6 ⑤
- 問 7 ①
- 問 8 ③
- 問 9 ①
- 問 10 ④
- 問 11 ④
- 問 12 ②
- 問 13 ③
- 問 14 ②
- 問 15 ⑤

予報業務に関する専門知識

- 問 1 ②
- 問 2 ③
- 問 3 ②
- 問 4 ①
- 問 5 ④
- 問 6 ①
- 問 7 ③
- 問 8 ①
- 問 9 ②
- 問 10 ⑤
- 問 11 ②
- 問 12 ⑤
- 問 13 ④
- 問 14 ⑤
- 問 15 ②